

第57回仙台矯正管区教誨師研修岩手大会（JKA 競輪補助事業）

平成27年10月15日(木)～16日(金) 開催

研究討議「自己を見つめ直し 自己改善を促す宗教教誨」

発表者	青森県教誨師会	三浦真介
	秋田県教誨師会	飯野耕太郎
	福島県教誨師会	亘理正明
	山形県教誨師会	新野芳博

発表応援者	青森刑務所上席統括矯正処遇官	竹川聡嗣氏
	秋田刑務所統括矯正処遇官	岡野毅氏
	福島刑務所上席統括矯正処遇官	村尾守康氏
	置賜学院首席専門官	熊谷康之氏

記念講演

演題 ぼくだって善人になりたい～生まれてきてくれてありがとう～
講師 ノンフィクションライター 北村年子氏

成果

平成24年7月に犯罪対策閣僚会議において「再犯防止に向けた総合対策」が策定され、また、平成25年12月には、「世界一安全な日本」創造戦略が閣議決定されるなど、現在、国を挙げて犯罪や非行をさらに減少させ、国民の治安に対する信頼感の醸成に向けた取組みを推進しているところである。これを受けて、各矯正施設においても受刑者や非行少年の再犯・再非行防止のために、更生意欲の喚起と社会生活に適應する能力の育成を図るべく、様々な教育・指導が展開されているが、その対象となる彼らが自己を見つめ直し、自ら改善しようとする意識の前向きな姿勢を持ち合わせてこそ、効果的で実効力のあるものとなると考えられる。

このことから、本研修大会においては、仙台矯正管区教誨師連盟に所属する教誨師と、仙台矯正管区管内の矯正施設の関係者が一同に会し、大会テーマ「希望へ!」、研究討議題「自己を見つめ直し 自己改善を促す宗教教誨」の下で研修がなされた。

被収容者が、これまでの自分を客観的に見つめ直し、自ら改善へと進むためには、宗教的な働きかけが効果的で重要な意味を持つことについて論をまつことはないが、その具体的方策、内容、他の教育課程との連携等、多くの課題があり、一朝一夕に具体化されるものではない。しかし、教誨師がその役割を担うことは、矯正施設のみならず社会全体からの要請ともいえるものであり、矯正教育の根幹をなす部分ともいえるこの大きな課題について、社会からの負担に応えようとする各教誨師の積極的な姿勢が随所に見られる、充実した内容のある研修会であった。



開会式



研究討議



記念講演

